

## 会議録（要点筆記）

会議名	平成 27 年度 第 3 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	平成 27 年 8 月 18 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分
開催場所	みやま市役所 大会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 報告事項 第 2 回創生会議録について</li> <li>(2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市民アンケート調査結果について</li> <li>② 人口ビジョン（たたき台）について</li> <li>③ 総合戦略（たたき台）について</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3 その他</li> <li>4 次回の開催について</li> <li>5 閉会</li> </ol>
委員出席者	廣井委員、金子委員、内田委員、相澤委員、江藤委員、塚原委員、大賀委員、大城委員、森田委員、松藤委員、末吉委員、瀬口委員、宮本委員
欠席者	牛嶋委員、岩切委員、林田委員、松浦委員、今村委員
事務局	塚野総務部長、坂田企画財政課長、山田企画財政課長補佐、長岡
傍聴者数	3 名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1 第 2 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議 会議録</li> <li>・資料 2 市民アンケート調査結果報告書</li> <li>・資料 3 子育てに関するアンケート調査結果抜粋</li> <li>・資料 4 「みやま市人口ビジョン」及び 「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（叩き台）</li> </ul>

## 1. 開会

---

### <坂田企画財政課長より開会>

## 2. 議事

---

### (1) 報告事項

【会 長】 報告事項について事務局より説明をお願いします。

#### <事務局より、以下の説明>

「資料1」：第2回みやま市まち・ひと・しごと創生会議会議録

【会 長】 何か質問・意見はないか。

【委 員】 会議録6ページのアンテナショップ設置について、みやま市を売り込むための総合的な発信拠点としての役割を持たせるような議論の場を持ちたかった。

【会 長】 総合戦略についての協議の場で話していただきたい。他に質問・意見はないか。

#### <質問・意見なし>

### (2) 協議事項

【会 長】 協議事項について事務局から説明をお願いします。

#### <事務局より、以下の説明>

「資料2」：市民アンケート調査結果報告書

「資料3」：子育てに関するアンケート調査結果抜粋

【会 長】 何か質問・意見はないか。

【委 員】 市民意向調査の内容は、前回実施したものと同一内容か。

【事務局】 3年程前に行政評価の一環で市民意向調査を実施した。内容は若干変えたところもあるが、ほぼ同じものである。

- 【委員】 前回の回答結果と大きく変わった点はあるか。
- 【事務局】 正確な分析までは至っていないが、前回の調査と傾向はあまり変わらないと思われる。前回同様に不満に思われている点として「交通の利便性」、「買い物する場所が少ない」などが挙げられる。
- 【委員】 市外からの移住意向調査については、回収率が示されておらず、反応があった方だけの結果となっているが、この数値の信頼性をどう考えているか。
- 【事務局】 この調査は、コンサルが抱えているモニターに対して行った調査。全体的な意見を反映しているのかというご指摘であるが、モニターの年齢層は若い層になっているかもしれない。しかし、傾向はつかめるのではないかと考えている。
- 【委員】 みやま市の知名度を上げていくためには、外部の評価は非常に大事だと考えているが、この調査では対象者の属性が不明である。モニターとなるような方はある程度詳しいので、その人たちだけの調査では偏った結果になってしまうのではないかとと思われる。戦略を立てる上では、そのあたりをおさえておいてほしい。
- 【事務局】 時間の制約もあるので、外部の評価は今回のような調査で行った。委員のご指摘のとおりかもしれないが、再度調査をし直すことはできないので、今回はこの調査を、傾向を把握するための参考にしたと思っています。
- 【委員】 みやま市を売っていくためにはアンテナショップのようなものが非常に重要性を帯びてくる。所管はどこか。
- 【事務局】 アンテナショップの現時点での構想は、道の駅みやまの支店を作るイメージである。そのため、所管を農林水産課としている。
- 【委員】 農産物販売だけではなく、観光や住環境などの情報の発信を伴ったアンテナショップも必要と考える。そのような、総合的な構想を持ってもらいたい。
- 【事務局】 アンテナショップについては、総合的な情報の発信基地にしたいと考えている。農産物販売の割合が大きく占めるので、所管は農林水

産課としたいが、基礎調査には、商工観光課と企画財政課も入るようになっている。

【委員】 まだ3課での打合せが行われてないと聞いている。また、具体的に  
行う事業については、物品販売と聞いているがどうか。

【事務局】 近々、委託するコンサルを決めるプロポーザルを行うこととしてい  
る。その選定委員に、農林水産課と商工観光課、企画財政課が入る  
こととしている。業者決定後に、具体的な協議をしていきたいと考  
えている。ご指摘のような方向で進めていきたい。

【会長】 市民意向調査について、問9～問13、問30、問33で、お住まいの  
地区とのクロス集計をお願いしたい。地区ごとに意見が違うと思わ  
れるため。

【事務局】 集計して次回お示しする。

【委員】 買物が不便だというアンケート結果になっているが、回答者はどこ  
の都市を基準に判断しているのか。日常でそこまで不便には感じな  
い。この結果は慎重に見る必要がある。

【事務局】 11ページの問12のとおり、引っ越したい理由の上位は、「買い物や  
外食が不便」「交通の利便性がよくない」ということが挙げられて  
いる。このように回答した人はいずれも若い年齢層が多いと思われ  
る。若い世代が求める買い物の場所がないためと推測される。

【委員】 アクセス方法としては高速道路のインター、JR駅などもあるので、  
「交通の利便性がよくない」という結果は、おもしろい結果だと感  
じる。

【事務局】 交通の利便性については、市内の移動がしづらいという意見かもし  
れない。

【会長】 57ページの「結婚・子育て意識調査」でも同じように「買い物や外  
食が不便」、「交通の利便性がよくない」などの結果が出ている。や  
はり先ほどから挙げられている点については若い層の意見なので  
はないかと推測される。

【事務局】 調査結果は結果としてあっていいが、戦略を作る上で、数字に惑わされずに十分に吟味していく必要がある。

【委員】 71 ページについて、この調査に示してある「福岡県外 12.1%」は具体的にはどの自治体を指しているかわかるか。

【事務局】 正確にはわからないが、荒尾市や佐賀県ではないかと考えている。

【委員】 私もそうではないかと思っている。荒尾市は人口の増減については横ばい、もしくはやや増加の傾向を維持しているようである。具体的に荒尾市と明記してはどうか。

【事務局】 今回の調査では分析ができない。回答項目がないため明記できない。今後の調査では荒尾市も選択肢に入れたい。

【会長】 他に質問・意見はないか。

#### ＜質問・意見なし＞

【会長】 それでは、「みやま市人口ビジョン」について事務局から説明をお願いします。

#### ＜事務局より、以下の説明＞

##### 「資料4」:「みやま市人口ビジョン」(叩き台)

【会長】 何か質問・意見はないか。

【委員】 高校卒業して就職する場合や大学進学する場合に、どうしても若者がみやま市に定着することが少ない。一定の年代以上の方は田舎暮らしをしたい人が多いので、ターゲットをある程度絞ってはどうか。自然が豊か、災害が少ない、住めばいいところ、などのみやま市の特性を生かしてはどうか。

【事務局】 戦略に関しては、次の議題でご協議願いたい。

【委員】 Uターンをしたいという意向調査はできないか。

【事務局】 みやま市に限ってのUターン意向調査は難しい。本籍がみやま市であるというような、本市に縁のある方については可能かもしれないが、実施はしていない。

【委員】 Uターン希望者の意向を調査しなければ、Uターン支援の施策がとりづらいので、できるだけ努力をしていただきたい。

【会長】 対象者リストを入手することが難しいと思われるが、例えば小中学校の同窓会名簿の利用に協力してもらえるなら、有効に使えるかもしれない。

【事務局】 いろいろな手段を使って、Uターンを推進しなければならないと考えている。

【委員】 近隣では筑後市、久留米市、大木町の人口の減少が少ないと思われるが、どう考えているか。

【事務局】 筑後市について言えば、本市に比べて出生数が多く自然減の数が少ないことが影響していると思われる。

【委員】 そのような自治体が近くにあるので、みやま市も頑張ってもらいたい。

【事務局】 何とかしたいと思っている。

【会長】 他に質問・意見はないか。

#### ＜質問・意見なし＞

【会長】 それでは、「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について事務局から説明をお願いします。

#### ＜事務局より、以下の説明＞

##### 「資料4」:「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(叩き台)

【会長】 何か質問・意見はないか。

【委員】 一点目は、財政面についてよく考えて、実現可能なものにしていただきたい。二点目は、73ページ⑤に書いてあるように、施策間の連

携をとり一体的な取り組みを行うことは、ローコストで施策を行う上では非常に重要なことなので、強く望む。

【事務局】 一点目について、73 ページ②に書いてあるように、持続可能な財政運用を基本に、将来を見据えた効果的な投資を図っていくよう、十分留意していきたい。二点目について、数値目標を掲げ目標管理を十分に留意していきたい。

【委 員】 20 代ぐらいの若い人たちの転出が多く、それをいかに食い止めるかということで医療費の助成等もしているということであったが、それがどれくらい市民に知れ渡っているのか。知っていれば転出抑制にもつながる。そのような、市民に知ってもらおうということを計画に入れた方が、良い結果につながるのではないかと。

【事務局】 様々な子育て支援策実施しているが、どれだけ浸透しているかは分からない。市として積極的に対策が行えているかといえばあまり行えておらず今後の課題でもありと考えている。イメージ向上のためのプロモーション事業などでPRすることや、子育て支援に限った情報の発信方法なども検討し、次回計画に盛り込んでいきたい。

【委 員】 アンケート結果の間 15 で、市の情報提供は十分ではないという回答が多数あったので、検討していただければと思う。それと、西鉄からみやま市へのアクセスがあまり良くない。柳川駅から堀川バスが運行されているが、本数が少ない。みやま市を拠点に仕事をする人を増やすということであれば、JR 沿線は利便性が良いが、西鉄は不便を感じる。西鉄の不便さを払拭できれば、もう少し変わってくるのではないかと。

【事務局】 西鉄からのアクセスは大きな課題。みやま市と柳川市で堀川バスに運行補助をしている。利用者が少ないため、費用対効果という観点から本数を増やすことが難しい面もある。

【委 員】 瀬高地区では、西鉄のアクセスが良くないが、高田地区ではそうでもない。そのような地域性もある。それを踏まえてコミュニティバスをどうするかなども考えていかなければいけない。

【事務局】 コミュニティバスは市外を走ることは難しく柳川駅に迎えに行くことは困難なため、堀川バスとの連携しかないと考えている。

- 【委員】 コミュニティバスを、路線バスの代替事業として捉えるのではなく、違う捉え方で考えていってもいいのではないか。それと、コミュニティバスを走らせていても、高齢者にはそのバス停まで行くことが大変だという話もよく聞く。
- 【事務局】 67 ページに記載しているが、コミュニティバスの導入と福祉バスの相乗効果を検討していきたい。
- 【委員】 交通の便が悪い、買い物が不便というアンケート項目について、年代別で示せるか。
- 【事務局】 今回は示していないので、分析して次回お示ししたい。
- 【委員】 年代によって交通機関を使う時間が違ってくると思われる。それによってバスの運行時間などを考えられるのではないか。
- 【事務局】 おそらく、若い世代の意見が多くなってくるのではないかと考えられる。
- 【委員】 私たち世代は、車があるのでそこまで不便に感じない。駐車場がないことでたまに不便に感じることはあるが、おそらく年齢別に違いがあると思われる。
- 【事務局】 次回お示ししたい。
- 【委員】 59 ページの結婚サポートセンターについて、あまり成果が上がっていない。結婚して市外に転出し、人口が減っているケースも見られる。農漁業者に絞ってもいいのではないか。二点目は、69 ページの文化・スポーツを通じた地域振興について、今までの旧三町の取組みと合併してからのスポーツ振興は、住民の体力づくりが主になっている。スポーツを通してまちづくりをしていく、またはみやま市の知名度を上げるためには、アスリート育成が必要ではないか。
- 【事務局】 結婚サポートセンターについて、ご指摘のとおり、登録者は増えているが成婚数は伸び悩んでいる状況である。しかし、この事業については、地域間の連携もあるので、引き続き実施させていただきたい。農漁業者に限定した取組みについては、持ち帰って協議し、



可能であれば盛り込んでいきたい。スポーツを通じた地域振興のアスリート育成について、県ではそのような取り組みがされている。本市でも実施可能かどうかは検討させていただいて、次回ご提案したい。

【委員】 幅を狭めてみやま市独自のやり方でできるのか、できなければ県との連携を図って実施することも一考ではないか。

【事務局】 検討させていただきたい。

【委員】 アンケート調査結果 41 ページの間 39-1 を見ると、子どもを産み育てる世帯は、「アパート・マンションが少ない」という回答が多く、70 歳以上では、「空き家が点在している」という回答が多い。空き家に対して、空き家バンク制度をうまく活用して、利用できると良い効果が生まれるのではないか。二川校区はアパートが多く建っているため、子育て世帯も多くみられる。しごとや経済面だけではなくて、住む場所がないということが関係しているのではないか。

【事務局】 住む場所については、みやま市内のアパート・マンションの家賃は高いという噂を聞く。市でできることは限られるが、条件整備できるところはしていきたいと考えている。空き家バンクについては、現在登録が少ない状況。空き家の実態調査をこれから行うので、それを機に登録数を増やし、有効活用していきたい。

【委員】 前回委員から指摘があった、「企業団地の造成」について、前回と変わっていないがどう考えているのか。農業の育成を重点的にするのか、企業団地を造成し企業誘致を推進するのか、どちらを重点的に考えているのか。

【事務局】 結論から言うと両方。すみわけを行いながら推進する。農業は農地を保全しながら推進し、みやま柳川インター周辺などは、団地を造成し企業誘致できればと考えている。

【委員】 アンケート調査結果の 75 ページでは、学生が農林漁業の就職を予定している人は 0% になっている。周りを見ると高齢化も進んでいる。例えば、個人で頑張っている人を中心に広げていくとか、多様な販路を持っている人を中心に組織作りをしてブランド力を上げていくなどの考えが必要だと思われる。

【会 長】 他に質問・意見はないか。

＜質問・意見なし＞

【会 長】 では、本日の議事についてはこれで終了する。

【事務局】 本日いただいた意見を反映させ、総合戦略には数値目標を入れて、素案という形で次回お示しできたらと思っている。

### 3. その他

---

＜特になし＞

### 4. 次回の開催について

---

みやま市まち・ひと・しごと創生会議 第4回会議  
開催日 平成27年9月1日（火）13時30分から  
会 場 みやま市役所本庁 西館4階 大会議室

（午後4時00分 閉会）